

第12回安八町少年教育交流団

中国研修報告

8月2日(火)～8日(月)

結・名森・牧小学校の5、6年生12人が中国江西省を訪れ豊城市の小学生たちと元気に教育交流を行いました。

今年は、豊城市から友好提携を交わしたいとの要望もあり、親書を持って特使（議会議長、教育長）も同行しました。

中国研修を終えて

牧小学校六年 佐竹 悠理



『やっぱり同じ漢字の国だなー』と親近感を持ちました。ハオ君のお母さんの手作り

中国では半日だけでしたが、ヤン・ハオ（楊 昊）君の家にホームステイしました。久しぶりに会ったハオ君はとても元気そうで、僕との再会をとても喜んでくれました。家族の人も優しくしてくれました。

中国語は話せないけれど、

ジェスチャーや漢字を書いたりしてコミュニケーションをとることができました。

この中国研修で、自分が成長したと思うことがあります。それは「責任感」です。私は、二班の班長となりました。班長は大事な役目です。みんなをまとめるという気配りと活動をおして、「責任感」がついたと思います。

この一週間、中国研修はとてもよい経験になったと思います。団員の子みんなと仲良くなれました。中国の子とお別れでは、思わず涙が…。

この思い出は、私の一生の宝物です。中国、すてきな思い出をありがとう。

すてきな思い出ありがとう

結小学校六年 桑原 里奈



私が中国へ行って一番楽しかった事は、交流会です。ホームステイ先の家族の人も来ていてうれしかったです。踊りがすくて、とっても体が柔らかいし、習字も上手でびっくりしました。

ホームステイ先の子と食事も面白い物をして、とっても楽しかったです。

行く前はとても心配だったけど、中国語を勉強して、中国を観光しながら、中国の歴史を教えてもらい、とても勉強になりました。とても楽しかったです。もう一度行きたいです。

異国の友だち

名森小学校六年 田中翔太郎



の料理を食べたり、豊城市内の大きな牛の像のあるところへ連れて行ってもらったりしました。別れる時は寂しくてハオ君と二人で抱き合って泣きました。

今回の中国交流で、僕に中国人の大切な友だちができました。

